

## 国立市ジェンダー平等に関する市民意識調査 自由意見(抜粋)

番号	性別	年齢	意見内容	種類
1	男性	80歳以上	知らない事ばかりでした。余命いくばくもありませんが、すべての人が住みやすい良い国立市になる様に願っております。	知る機会になった
2	女性	60～64歳	ここ数年、コロナ禍と、10年余りの家族(自分の両親)の介護で、自分の社会への関心がいかに薄くなっているか、アンケートに回答していて、気づきました。両親は他県に在住なので、国立と往復している生活でした。介護も女性が担うことがあたりまえのような考えが強いと思います。国立市ならではの条例も知らずにいましたが、これを機に、関心を持ってゆこうと思いました。	知る機会になった
3	女性	75～79歳	ジェンダーについては知りませんでした。これから注意していろいろ調べたいと思います。	知る機会になった
4	男性	70～74歳	人権尊重、人類の平等、男女の平等、など、自分は平等を重んじて、理解あると思っていた。しかし今回のアンケートにて、私は何も知らない、何も分かっていないことを理解した。ただ、ジェンダー平等ということに生理的に受け付けない部分も正直(このようなことを書いてはいけないと考えてわかっている)ある。男女平等も、何でもかんでも平等、平等と言っても無理があるのではないか。少しでも無くすよう努力するはあたりまえだが。非常に難しいですね。なぜ、くにたち男性ホットラインは無いのか？	知る機会になった
5	女性	60～64歳	ジェンダー平等については、賛成ですが、今回の調査で自分が積極的に学んだり、知ろうとしていなかったと思いました。これからは、もっと視野を広げていきたいと思いました。	知る機会になった
6	女性	55～59歳	理解不足でした。(問13)	知る機会になった
7	女性	60～64歳	国立市がいろいろ取り組んでいる制度を知りませんでした。勉強になりました。	知る機会になった
8	男性	75～79歳	国立市の取り組みについて何も知りませんでした。広報紙には目を通してはいるのですが……	知る機会になった
9	男性	75～79歳	高齢のこともあり、あまり関心がなく、市報などに目を通していないため、良くわからない。「市報などの広報を通して関心をもつべきである」と感じた。	知る機会になった
10	女性	70～74歳	今回のアンケートの記入にあたり、国立市の各取り組みを何も知らないことに気付かされました。今後はもう少し情報の提供に敏感になり、参画意識を持ちたいと反省している次第です。	知る機会になった
11	女性	25～29歳	国立市が行っている活動についてほとんど知らなかった。	知る機会になった
12	女性	80歳以上	自分の知らない事が多すぎ、関係ないからと目も耳も使っていない毎日だ、と反省多し	知る機会になった
13	男性	80歳以上	80才以上の自分にアンケートがくるとは非常に驚いた。ジェンダーについて問13につき語句の解説は参考になりました。	知る機会になった
14	女性	80歳以上	男と女で今迄それなりに対応していましたが人間多々違いがあるとは？今回のアンケートで勉強しました。ありがとうございます。	知る機会になった
15	女性	60～64歳	身近に困っている人がいない事、自身でも体験がないとどうしても、知らない事がたくさんあります。今回のアンケートでいろいろ知りました。	知る機会になった
16	女性	60～64歳	アンケートで国立市が何をやっているのか、何も知らないことを認識しました。	知る機会になった
17	女性	80歳以上	知らない事が、かなりあったので、今回のアンケートを通していい勉強になりました。	知る機会になった
18	女性	70～74歳	常設の「生き方相談」がある事を知って良かったです。	知る機会になった
19	女性	80歳以上	市報で見えるくらいで、普段全く気にもとめていないことなので良い答えが出来ませんでした。これからは今回の事にかぎらず色々な事に関心を持って行くつもりです。この様な機会をいただきありがとうございました。	知る機会になった
20	女性	80歳以上	アンケートを回答することでジェンダー平等について学んだ。(定形封筒として活用は良いアイデアです)	知る機会になった
21	女性	55～59歳	アンケートに答えさせて頂き、自分が知らない事がたくさんある事を知りました。とかく他人事としてスルーしがちでしたが、これを機に関心を持っていきたいと思えます。貴重な機会をありがとうございました。	知る機会になった
22	女性	50～54歳	耳にしたことはあったが、知らない事の方が多かった。	知る機会になった
23	女性	50～54歳	多様な生き方を認め合える社会の大切さを感じています。国立市の取り組みは、とても進んでいると思うこともありますが、今までそれを知るのTVやラジオからで、市内で、どのような活動があるのか知ることはありませんでした。市からもっと取り組みについてアピールがあっても良いと思えます。様々な相談窓口があるようですが、話しても仕方ないと思うこともあります。相談後、どのような道すじ、解決策があるのか、又、具体的にどんな“小さな”相談でも聞いてもらえるのかなどがわかると、窓口へのハードルが下がると思えます。他人の話は、“それは大変!!”と考えられても自分の事となると“この程度ならガマン”と思ってしまうがち。“私でも相談していいのだ”と思える様になると良いです。	広報・情報発信
24	男性	75～79歳	市広報では余り掲載していなかったのでは！	広報・情報発信

25	男性	19歳以下	自分は進学のために国立市に転入して丸1年が経った身ですが、あまり、市の取り組みが伝わって来ていないように思います。自分はアルバイト先に向かうのに国立駅を利用することが多いので、そういった人の集まる場所での広報の必要性も感じます。ジェンダー平等について、すべての人が生きやすい環境を整えるという点で賛同します。ただ、それが行き過ぎて性的少数者への「優遇」としてとらえられてしまうことは誰にとっても不幸なことなので、バランスをとることが大切であると思っています。地方から転入してきた人間から見ても、東京は多様性の街だと感じます。国立にも学生、外国の方をはじめとして多様なバックグラウンドを持つ人々が住んでいる中で、ジェンダーの問題にも是非積極的に取り組んでいただき、すべての人にとって住みやすい国立市を作っていくことを望んでいます。	広報・情報発信
26	男性	80歳以上	今迄この様な設問や又その意味に付いて知らない事が多々あった。今後これらの情報を市報やその他の方法で知る事が出来れば良いと思います。	広報・情報発信
27	男性	60～64歳	今回のアンケートを通して、国立市の取り組み概要を多少なりとも知る機会となった。自分のような、日頃こういった問題について関心の低い者にとっては様々な施策について知らないことの方が多いと思う。国立市としては、種々取り組みについて、さらに情宣活動を継続し、広く市民に知れ渡るよう努力して欲しいと思う。	広報・情報発信
28	女性	50～54歳	国立市が独自に条例を作っていることは知らなかった。知人、友人含めLGBTの人がいないため意識したことがなかった。どんな人も、自分らしく自然体で生活できる街づくりができれば、たくさんの人たちが幸せに生きれると思うと、多くの人に周知することが大切だと思った。	広報・情報発信
29	男性	80歳以上	ジェンダー平等を広げるために、駅前ロータリーに看板を立てる。(三・四方向から見える。)一定期間。市内施設などパンフレットを置く。	広報・情報発信
30	女性	45～49歳	ジェンダー平等については、本人が決めれば良いと思います、小さい頃、LGBTの方を多く見ていました。とても苦しそうにしていたのを覚えていてどうして男は女はを大人はおしつけていて子供心に不思議に感じていました。男、女だからでなくもっと1人の人間として人を大事にする考えが広がっていくことを思っています、市の活動はよくわからないのもっとわかりやすくしてどんなことをしているのか？市の利用できるものを知ることができるといいなと思っています。HPもわかりにくくて、もう少しシンプルでわかりやすいHPにしてほしいです。市の活動、イベントなどを利用できると思います。フラットな感じにしてほしい。しきいが高くても相談できないかも。	広報・情報発信
31	男性	65～69歳	施策について知らないのでHPの目立つところに掲示する等をした方がよいと思う。	広報・情報発信
32	女性	60～64歳	国立市がジェンダー平等、多様性を重視しているとは感じているが具体的な内容や制度の詳細をあまり知らなかったということをこのアンケートでわかった。もっと市報などで告知や広報をしてもいいと思う。	広報・情報発信
33	女性	45～49歳	今回、アンケートに回答してみて、知らないことばかりだったので、もっと勉強しなくてはと思いました。市からの情報発信にも期待しています。	広報・情報発信
34	男性	30～34歳	国立市へ期待していることがなく、感度が低いためか、国立市の発信に気が付かない。あまり反応はないかもしれないが、積極的な継続的な発信をすべきだと思う	広報・情報発信
35	男性	55～59歳	私が国立市のこれらの制度について調べたことがないため実施されていることのほとんどを知らなかった。調べずとも案内するものを検討いただきたい。私は今回を機に調べて確認するようにいたします。	広報・情報発信
36	男性	50～54歳	情報誌や展示などは、理解を深める機会としていいと思います。法律の整備等も必要ですが、まずそういう人たちが身近にいるということを理解してもらうことは大事だと思いますので、引き続き、情報発信は続けてもらえればと思います。	広報・情報発信
37	女性	45～49歳	ジェンダーの問題について、積極的に取り組む姿勢がわかった。普段身近・興味がある問題でないが、機会があれば知ってみたい。旧駅舎や駅前広場などや例えばカフェにいる時など時間がある時に手に取れるリーフレットなど、働きかけがあれば興味を持つきっかけが出来るかも知れない。	広報・情報発信
38	女性	60～64歳	現在、子育て支援について国が策を練っていますがお金だけでなく男の人の子育てに対する向き合い方(考え方)が変わらないと今のままでは女性ばかりが背負う事が多く、仕事と両立しながら産み育てようと思えないと思います。産むことは女性にしかできないのですから育てる時の突然の病気で欠勤や早退など男の人も会社に迷惑がかかるなどと逃げたいわけがありません。うちの夫は逃げきり世代でラッキー！などと家事も子育てもほとんど関わりませんでした。なにをすれば男の人の意識が変わるのかわかりませんが、学校の教育現場から子供は二人の子供であり協力しあって育てるものということを自然に身につくようにしてあげて欲しいです。	教育・啓発

39	男性	30～34歳	教員として教える仕事をしており、就職についても教える・支援することがあります。とりわけ雇用の場では、ライフスタイルの変化にあった仕事の調整が難しい、やろうとすると女性側に負担がのしかかる、といった実情を見聞きしてきました。制度自体は性中立的に設計されているとしても、運営上(例えば男女別コース制が事実上生き残っている等)そうはなっていない等、生徒らに教えていて気を遣います。また、思春期の子たちに接さざるを得ないため、性自認・性指向の多様性には気を遣います。私自身はシスジェンダー・ヘテロセクシャルですが、そうでない子もいるはずですので、雑談(例えばなし)の際に話す内容が適切か、迷ったり反省したりもします(男性ばかりを例に挙げていないか、マッチングや合意の話をするときに男女別の例しか挙げていないか、等。後者は未だに不十分になることがあります)。多方で、私的領域においては、女性のアドバンテージが大きいと思うのが正直なところですが、もちろん、ご家庭を持たれた後に家庭責任が女性にかたよっているのは問題です。しかし男性の場合、そもそもパートナーを見つけることが極めて容易ではありません。本アンケートでもパートナーがいることが前提になっていますが(それが悪いこととも思いませんが)、その手前の不均衡も、ジェンダーの問題であると思います。	教育・啓発
40	女性	80歳以上	知っていると思っていたが、きっちりとは理解してなかった語がある。市のパートナーシップ制度が充実されることを願う。学校の小学校、中学校でくりかえし包括的性教育を必ず実施してほしい。日本は女性の地位が先進国中でもっとも低いそうだ。男性の意識をかえるため小学校低学年からの教育が望まれる。男女間だけでなくパートナーシップ制度を学び性差別がなくなるよう市でも学習の場(講演などで)を用意してほしい。	教育・啓発
41	男性	60～64歳	取り組んでいращやることに敬意を表します。男女平等やジェンダー関連については超高齢化が益々進む中でとりわけ現在70代後半以上の方々への認識共有が重要だと考えます。国立市が、ということではありませんが日本では家父長制等を基にした男性に都合の良い考え方やしきたりが根強いと考えています。それゆえに丁寧な対応も欠かせないとも思います。	教育・啓発
42	男性	55～59歳	ジェンダーに対して国立市は先進的な市であると企業向けの講演会で知りました。国が認め世界的にも認められているので、ある程度の教育を子ども達にもしたらよいと思います。	教育・啓発
43	女性	70～74歳	人は成長してから意識及び考え方を考える事は、大変難しいと思います。小さいうちからの教育が大事なのではないのでしょうか。	教育・啓発
44	男性	35～39歳	天下市、市民まつりで学生の協力も得て、プライド・パレードを行い、幅広い年齢層に理解と助け合いの大切さを知ってもらい、広げていけたら良いと思います。	教育・啓発
45		45～49歳	認識のGAPを小さくする取り組みがあると良いのかな?と思います。ある年齢からあるいは世代からは理解が進んでいるのにその理解の深まりや教育の成果が、実際の場では成就しない...このがっかり感がただの理想というあきらめムードを産むと思います。私の身近では育休を取得した男性を見たことがありません。自分の性に貼られたイメージや固定観念にそれぞれが甘えているところもあるのだろうと思います。	教育・啓発
46	女性	40～44歳	職場で教育を受けたので、ある程度の知識はありますが、そのような機会がないと、TVやネットからの情報だけでは偏った認識が生まれることもあると思います。若い世代、子供への教育の必要性を感じました。	教育・啓発
47	女性	45～49歳	まだまだ男性の方が様々な場で優遇されて、女性の立場は低い社会だと思えます。以前国立公民館でジェンダーの講座を受けてとても良かったので続けてほしいです。当時は小さい子を持つ母親が対象だったかと思いますが、様々な年代、性別の方にも広く受けられるようにしていただき、市民のジェンダー平等に対する知識と理解が深まる機会を増やしてほしいです。また、子ども達を性的暴力から守るためにも、ぜひ積極的に性教育を早期から受けられる取り組みを早急に進めてください。幼稚園・保育園・小学校や公民館、児童館での講座や講演 図書館での本の紹介や導入など、できることはたくさんあると思います。アンケートが私のところに来て嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。	教育・啓発
48	どちらとも いえない	45～49歳	子供たちに向けたジェンダー教育イベント。お年寄りやミドル世代などのジェンダー平等に関する理解が低い人に向けたジェンダーイベント。意見として、ジェンダーに関した受け入れる、入れないも個人の自由であり、無理に押し付けるものでもないため、全員に理解してもらうことはできても、受け入れさせるのは難しいと思う。しかし、もし国立市がジェンダー平等、公平に関する取り組みをいち早く進め、弱い立場にある女性や、LGBTQ+の方などに手を差し伸べることができれば、よりよい町になると思う。また、今回の調査で国立市の政策のほとんどもを初めて知った。これらのことは、もう少し市民に広く伝えるべきだと思う。	教育・啓発
49	男性	30～34歳	「差別」と「区別」の境界が曖昧になっていると感じます。ジェンダー平等については、家庭での教育が大切だと思うが、学校での教育で取り入れた方が、将来に役立つのではないのでしょうか(実際に接するとき)。なので、教育への重点的な取組をお願いしたい。(外部講師など、教員への負担も考慮して)	教育・啓発
50	女性	60～64歳	コンサート、パレードなどしてほしい。	教育・啓発

51	女性	60～64歳	ジェンダー平等に関する講演会などの学びの会をもっといろんな場で開催して、多くの人の意識改革につなげていくのが大事ではないかと思います。	教育・啓発
52	男性	75～79歳	性別に関係なく多様性のある社会へ、前進すべきだと思いますし、国立市にはもっと前進する取り組みをして欲しい。特に、小、中、高校の教育現場にカリキュラムを組みこむべきだと思います。以上。	教育・啓発
53	女性	55～59歳	リプロなど、ジェンダー平等について、とてもよく発信されていると思うが、今後包括的性教育も義務教育の中でできない小中学生や大人など様々な対象を変えながらイベントを検討してもらいたいと思う。	教育・啓発
54	女性	55～59歳	小中学校でも積極的に国立市独自の取り組みを紹介し、これから未来を担っていく子どもたちに、差別や偏見などなく、自分らしく、お互いを尊重して生きていける大人になってほしい。また悩みを抱え込まずに、相談できる機関や窓口がある事を、当事者に届くようにしてほしい。	教育・啓発
55	女性	45～49歳	中学校の、ある一つの部活動で、「今年度は男子部員は募集するが、女子部員は新たに募集しない」という通達がありました。理由は、教員不足、専門性を持つ者がいない、教員の働き方改革のためです。校長は、保護者への挨拶の際に「インクルーシブ教育、人権教育を推進する」とおっしゃいました。理念に掲げるのならば、実行すべきだと思います。「教員不足のため諦める」のではなく、生徒の人権も教員の人権も、両方とも守るためにはどうすればよいかを考えていただきたいかったです。男女で試合が分かれているため、引率する教員の負担が大きいのは事実で、そんな中、熱心に指導していただいているので、これ以上の負担はかけられません。引率資格のある「部活動指導員」を増員することや、大会の仕組みの変革を望んでなりません。	教育・啓発
56	男性	60～64歳	パートナーシップ制度で得られる権利が、結婚と同等になる事を願います。(法的に)	法制度等について
57	女性	20～24歳	パートナーと(法的な)家族になりたいです。	法制度等について
58	男性	55～59歳	夫婦別姓は昔からの制度でもありましたが今だけ(ここ百数十年)できないのは不都合も多いので認めてほしいです。民間が自主的に認めても、手続きが行政の書類で大変になるので、どちらか自由に選択できるように行政としてもしてほしいです。本人もそうですが、まわりの方々も大変です。	法制度等について
59	女性	70～74歳	全ての人自分らしく生きていける社会をめざしたい。夫婦別姓の選択が何故できないのか。国立市→東京都→国日本と動かしてほしい。政治の世界が今の日本の男社会を表している。まっ黒な世界、色が無い、個性がない、ほぼ100%の女性が夫の姓になることを男性側はどう考えるのか？もし、自分の姓が変わるとなったら・・・？！	法制度等について
60	男性	40～44歳	LGBTQのロビー活動のゴールが見えない。国や自治体が相続やら配偶者控除でも率先してやってみてはどうか。	法制度等について
61	女性	25～29歳	私は異性が恋愛対象ですが、知り合いに同性が好きの方がいて悩みや相談を聞いていて同性婚が認められて欲しいと思いました。生きている人達全員が平等に幸せになって欲しいです。	法制度等について
62	男性	35～39歳	困難女性支援法自体うさんくさい。東京都から委託を受けた一般社団法人での活動内容についてきちんと行政で評価(女性支援できているか)できていない。どうなったら、何したら支援というかゴールが分からんまま法律作っても意味ないのは？ムダな金では？と思う。	法制度等について
63	男性	45～49歳	性的マイノリティーへの差別や権利は認めるが法的な同性婚や夫婦別姓は合法とすべきではないと思っている。日本人の文化や日本人としての権利は守るべきで外国からの関与を受けぬよう慎重に進めるべきと考えている。不法な入国や違法滞在が容易にできぬよう、守りの部分もしっかり整備してほしい。	法制度等について
64	女性	30～34歳	多様な性のあり方が認められる世の中になってほしいです。同性愛者どうしの結婚や子育てなどが日本でも当たり前となることを期待しています。	法制度等について
65	男性	70～74歳	夫婦別姓制度の法律を推進すべき。	法制度等について
66	男性	80歳以上	国立市がジェンダー平等にとりくんでいることは良いことだと思います。	市の取り組みへの支持
67	女性	35～39歳	不勉強で知らないことがたくさんありましたが、市政・町づくりに期待します。不本意・生きづらさを抱えている人が受け入れられる仕組みづくりを支持します。	市の取り組みへの支持

68	女性	35～39歳	私は生後から10才まで海外で育ち、ドイツで大半を暮らしましたが、様々な国籍・背景の友人たちと共に過ごし、尊重(とまでいかない、それが自然でした)し合う社会を体験してきました。小学校では落第制度はあったものの、障害がある子たちとも共に学んで遊んでいました。ドイツの街並みをモデルにしている「国立市」でこそこの精神があるのは素敵なことです。応援します。レインボーウォーク？(レインボーカラーを着て外国でジェンダーの方々が歩くイベント)をテレビやSNSで見たことがあります。楽しそうだな、自由だなという印象を受けたことがあり、ああいうお祭りを国立市でもできたらいいな、とは思いました。最近では、ジェンダーに関わらず、色んな仕事への価値感、家事・育児分担のあり方、ファッション、親子関係があり、受け入れ(むしろ他の人のことをそれほど気にしないでそのままありのまま受け入れる)が、子供たちの中で進んできている気がしています。	市の取組みへの支持
69	女性	30～34歳	国立市は、がんばっていると思います。私は視覚障害者なので旦那さんに代筆してもらっています。いつも支援感謝しています。	市の取組みへの支持
70	女性	50～54歳	普段、毎日忙しく過ごす中で、興味がなかったり、持てなかったりしている。国立市の関係者の方が真剣に取り組む姿勢を感心するというのは偉そうで違いますが、とても大切で必要なことだと調査を通じて考えることができた。“何かに困ること”というのはいつか自分にも起こりうることであり、その様な時にこの調査のことを思い出し、相談先がたくさんあることで不安が軽減されるのではないかと感じているし、誰か困っている方がいる時にアドバイスができれば良いと思う。	市の取組みへの支持
71	女性	20～24歳	今回このようなアンケートを受けるまで、国立市で行っている取り組みについて知る機会がなかったので、知ることができて良かったです。LGBTの方や女性の方が生きづらい社会は少なからずまだ残っている部分があると思うので、国立市が先駆けて生きやすい、暮らしやすいまちづくりをしてくださると、とても有難く、嬉しいなと思います。	市の取組みへの支持
72	女性	65～69歳	このような調査が行われること、時代の大きな変化を感じます。私は元夫の暴力(私にも悪いところがあると思っていました)をのがれ、現在の夫(最初は事実婚、現在は籍を入れました)と出会い、国立市に引越してきました。国立市がジェンダー平等に積極的に取り組んでいることを誇りに思います。どのような社会を作っていくのか、一人一人の生き方が問われていますね。明るく楽しく、前向きに生きられる社会になればと思います。国立市に住んでいることを誇りに思います。ありがとうございます。悩んでいる人がいれば、その方々に届く、サポートが必要だと思います。	市の取組みへの支持
73	男性	40～44歳	取り組みについてはとてもいい事だと思います。頑張ってください。	市の取組みへの支持
74	女性	75～79歳	国立市はこの件についてよくがんばっていると日頃から感じています。ただ年齢的にこのような内容についていけない自分もいます。一人一人が大切にされる事は必要です。この点でジェンダー平等を支持いたします。しかしその事が特別視される事には反対です。残された日々が少なくなっていますが男女を問わず人間として大切にしたい世の中になる事を願っています。	市の取組みへの支持
75	女性	80歳以上	生まれて83才になる今日迄色々な経験をして参りましたが、看護師として出産にたち合い両性を持って生まれて来る赤ちゃんを目にする事もあり、又心療内科で相談される患者さんの苦しみを思うと、もっと早くこの取組がなされればと思っておりました。市におかれましてはこの取組を進めていただきたいと思います。頑張ってください。	市の取組みへの支持
76	女性	75～79歳	漠然と認識しているつもりでいた課題を改めて再認識出来た。より身近に感じる必要性を常に意識しないといけないと思いました。他人事として処理してきたが、市や行政がとりくんでいる姿勢に共感致し、これからは市民の一員として協力したいと感じました。	市の取組みへの支持
77	女性	55～59歳	今回のアンケートで、国立市はジェンダー平等について、とても進んで取り組んでいることがわかりました。よく市民プラザを利用させていただいていますが、「パラソル」の企画、展示は毎回分かりやすく勉強になります。せっかくですので、他施設でも巡回展示になるとよいと思います。もう、5・6年前になります。子供が一中で道徳地区公開だったか…LGBTの当事者の方をお呼びし講演会がありました。実際の方の悩んだことも伺えてまた、明るくたくましくとても参考になる話を聞くことができました。今回のアンケートでも国立市がいかにジェンダー教育、法律等、力を入れているのかがわかりました。これからも、どうぞよろしくお願ひします。N.Y.で暮らしていたことがあります。「女性学」は、大学で必修だと友人が言っていました。もっともっと学習する場があるといいですね、日本も！	市の取組みへの支持
78	女性	60～64歳	今回このようなアンケートに参加させて頂きありがとうございました。私のすぐ近くにはLGBTなどの方が居られない為、国立市の取り組みを知らずにいましたが、市がこの様に積極的に色々な取り組みを行っている事を知る良いきっかけになりました。とても良い事だと思いますし、弱者を守る条例などこの様な活動をされている事、国立市民として、とても頼もしく思います。なかなか難しい事だとは思いますが国立市は比較的小さな市ですので一人一人に寄り添う市であって欲しいと願っています	市の取組みへの支持
79	女性	55～59歳	すでにいろいろと取り組まれていること、条例や制度、施設などが整っていると知りませんでした。生きにくさを感じている人が少しでも減るよう、ますますの取り組みをお願い致します。	市の取組みへの支持

80	女性	40～44歳	お疲れ様です。このような調査に回答する機会を得られて嬉しく思います。集計や、データの読み込み、報告書の作成など、ご多忙のことと思います。国立市のジェンダー平等のため、頑張ってください。微力ながら応援しております。国立市がもっと素敵で、多くの人が笑顔になれるような、街になりますように。	市の取組みへの支持
81	女性	45～49歳	国立市はジェンダー平等に関する施策、取り組みが進んでいるほうかなと思います。話題になっているのを目にすることも多く、様々な人が生きやすい、住みやすい市になっていくことに理解を得られるのは、皆にとって素晴らしいことだと感じます。	市の取組みへの支持
82	どちらとも いえない	40～44歳	パートナーシップ制度を実施してくださったことで、長年同居人としていた同性のパートナーとパートナーシップを結ぶことができ、国立市には本当に感謝しています。ありがとうございます。パートナーシップを結んだことで、どこまで婚姻関係と同じ権利を行使できるかまでは不勉強なため理解していませんが、パートナーに万が一があった際の病状説明への同席や治療方針の同意ができるように早急に制度を整備して下さるとありがたいです。多様な性を守ろうとしてくださっている国立市に生まれ育って本当によかったです。これからも期待して住み続けていきます。よろしくお願いします。	市の取組みへの支持
83	女性	35～39歳	国立市が平等になるよう取り組みをしていることが少しわかってうれしくなりました。これからも住みやすい市になるよう期待をしたいと思います。	市の取組みへの支持
84	男性	75～79歳	ジェンダーに関する統計的情報が少ない。色々な切口から、統計を表示していく事が社会を良い方向にするのではないかな？	市政への要望
85	男性	70～74歳	男女間で、昇給、昇格に差があり、これを解消することが、重要だと思っています。賃金格差をなくすこともジェンダー平等にとって大切です。市役所で働いている男女間ではどうなっているのでしょうか。市役所では非正規労働者が多く働いており、とりわけ会計年度任用職員の中で女性の方が多くいると思われます。その方々の労働条件は、正規の方より低いのではないのでしょうか。ジェンダー平等の視点からも検討していただき、格差を是正して下さい。	市政への要望
86	女性	35～39歳	ジェンダー平等の推進に併せて、職場や社会でも男女の隔たりが無くなってきているのを感じるが、ワーキングマザーとしては業務量が増加していることに困っている。しかし昇格や昇級するのはまだ男性が多く、働く女性には業務量の増加、子育てに関する行政サービスの不足、キャリアアップの停滞などの問題が多数存在する。多くの企業はジェンダー平等を業務量の平等として実施されているように感じている。ジェンダー平等に関して、正しく認識され他の内容と混同されることがなく、適切な対応となるよう社会においての対応方法を示して頂ければと考える。また、ジェンダーだけでなく、様々な分野でもアンケートが実施され市民の声が反映されるような対応がなされるよう期待している。	市政への要望
87	女性	70～74歳	行政の中に女性管理職を増やすよう努力して欲しい。30数年前に国立市教育委員会では他区市に先駆け“男女平等教育の手引き”を作成したがその後どのように活用され、また改訂されているのか。	市政への要望
88	女性	75～79歳	誰でも平等に住める／暮らせる町にして欲しい。	市政への要望
89	女性	50～54歳	ジェンダーについては、最近職場で少しずつ育休を取得する男性が出てきているので、育休中の過ごし方、お父さんの交流会のようなものが、地域であると良いと思っています。私自身が産後、病院での相談会、市での同じ位の月例のお母さんの集まりetcあって助かりましたので。あと、子育て中に困難に直面した時、相談する窓口が身近にあると助かります。又、中高生の子供が、学校以外で相談できる所があると良いと思います。学校での悩みは学校で相談しづらいこと、話しづらい時期もあるので、市外の学校の場合でも居住地域で相談できると少し気持ちが楽になるのかなと思っています。	市政への要望
90	男性	40～44歳	女性が継続的に社会参画できるよう、認可保育園の充実を図って欲しい。	市政への要望
91	女性	35～39歳	相談窓口をただ増やすのではなく、内容、対応を充実した方が良いと思います。子育て支援を利用するようになり、考え方の古さに驚きました。	市政への要望
92	女性	75～79歳	男女平等を言っている世の中が妙な社会であることに気が付く人々が多数となるよう願います。すべての人の平等が、まったくあたり前の世であることを願います。こんなことで苦しむ人のない社会を作り上げて行くことを、心より願います。その一人でありたいです。国立の自治がその様に築かれることを心より願います。	市政への要望
93	女性	65～69歳	立川市内の図書館学習館のトイレ(女性用しか知りませんが)には、DVの相談窓口についてのシールがはってあったり、カード(持ち帰り用)がおいてあったりします。これはいいアイデアだと思います。国立駅前に「パラソル」ができたときにももともと、国立駅には、めったに行きません。バスをのりついで行くので片道400円程かかります。これだけ交通費をかけて見に行く必要もなく、同じ交通費をかけるなら、新宿へ買物・食事に行ったほうが国立駅前より1000倍、10000倍くらい楽しいです。国立駅より、吉祥寺駅へ行くほうが安いなんて笑えます。	市政への要望

94	女性	75～79歳	制度としては国立市だからあるだろうと思っていた(知っているか否かは別)。ただどの程度有効に機能しているかは国立市ではどうか疑問。取り組みの姿勢と実効性が別になっている感じをうけている。	市政への要望
95	男性	80歳以上	同性者の同居証明書の発行をするべきと思う。小・中・高生の制服はスカート・ズボンを個人の自由で選べるようにすること。学校のトイレにも「性別なし」利用個所を設けること。震災にそなえて下水道に直接設置できる「トイレ機器」を常備しておくこと。	市政への要望
96	女性	40～44歳	条例や法律の名称は知りませんでしたが何となくLGBTQを応援している、という市の取り組みは知っていました。(市報などで知りました。)条例の名称が長過ぎて覚えられません。何か愛称などがあれば認知され易いと思いました。	市政への要望
97	男性	65～69歳	国立市役所職員間、又は市議会議員の間ではジェンダー平等は徹底されているのだろうか？市の施策として、お題目だけで終わっていないのかどうか、疑問に思う。	市政への要望
98	女性	70～74歳	私自身、現在の所、公的な相談窓口等を必要としている事はありませんが、絶対不可欠に必要とする人達も、いらっしゃると思いますので、選択肢は多い方が良いと考えます。但し、個人情報もれた事実も知っておりますので、その様な事がないように、対策等を”しっかり”するようにお願いします。	市政への要望
99	女性	60～64歳	女性や社会的弱者が経済的に自立するためのスキルアップ支援(一例として、パソコンの基本的な技能習得など)を、東京都のしごと探しやハローワーク以外に、身近な地元である国立市でも積極的に取り組んでいただけると有り難いです。また、今回質問に答えている中で、国立市として条例や法律に前向きに取り組んでおられる事を改めて知り、自分では市報など拝読して意識が高い方かと誤解していたと痛感しました。まして市報など見もしない夫は無知のままです。家庭内暴力に苦しむ当事者として、モラハラDV夫が嫌でも自分の暴言暴挙を自覚せざるを得ないような、市を挙げてのキャンペーンや意識改革教育を展開していただきたいと思います。色々な相談窓口があっても、鬱々としているモラハラDV被害者が相談するには、大変なエネルギーが必要で、かつての私のようなかなか動きたくても助けを求めたくても出来ないケースが多いと思います。限られた予算内で難しい事と思いますが、心身共に弱り果てている人が声を出し、助けを求められるよう、相談窓口にたどり着くまでの選択肢が増える事も祈っております。私はこの何年か、女性相談窓口の方々大変お世話になっており、おかげさまで何とか生きて、前に向かえております。心から感謝しております。スタッフの皆様の心身の安全をお祈りすると同時に、今どん底で苦しみ悩む方々が少しでも早く、明るい道に向かわれるよう願って止みません。	市政への要望
100	女性	55～59歳	市役所職員の採用比率をまずは50:50にしてみてもいいのではないでしょうか。議員比率などより、よほど公明正大で、実質のある施策になると思います。役職で、よく言われる「お飾り」管理職の男女比率を少し改善、のように見せかけて、実質が伴わないお茶を濁したような帳尻合わせをするよりは、これからの時代をつくっていく、若い方の組織の組み方に知恵をこらし、新鮮な感性や新しい働き方、暮らし方、改革力に期待した方が、歩留まりが高く、実質のある改革になると思います。国立市の職員採用の試みとして広く知らせれば、こうした市の姿勢に共感する、優秀で活力ある人材が集まるのではないのでしょうか。市民への広報、体外的話題づくりの面でもアピールできるのでは？	市政への要望
101	女性	40～44歳	ジェンダー平等は個々人の事柄であるだけでなく、社会の事柄だと感じます。当事者が周囲の人や家族に認められたいという気持ちがある場合、条例ではなく法律による規定が必要であることがあるようです。(知人は夫婦別姓を希望していましたが、両親が婚姻制が当然だという考えのため、パートナーシップ制は利用する意味がないと言っていました。)今後、国立市は議員や審議会委員の比率がLGBTQ+SOGIと女と男が同数に近くなることを期待します。	市政への要望
102	男性	45～49歳	この手のテーマはどちら側にも過激派が現れがちなので公的機関としてバランスのとれた対応を期待します	市政への要望
103	女性	45～49歳	中学校の制服、女子もスラックスを選べるようになったそうだが、実際には式典ではスカートの着用が必要とのことで、形だけのように感じる。もっと本質的な取り組みがなされるように期待したい。	市政への要望
104	男性	25～29歳	最近話題のジェンダーレストイレ問題のようにジェンダー平等を考えることはとても難しいし、ゴールが何かを見失うことがとても多いです。日本は他の国に比べて、少数派の方々の声が大きく聞こえる風潮がある気がします。性差があるのは理解した上で社会全体で思いやりを持ち、生産性のある会話をすべきだと思います。また、ジェンダー平等や男女共同参画社会の実現にむけてそれに合わせた条例をつくっていただくだけでなく、結婚や子育てをしやすくなる街づくりをして欲しいと思います。このような調査で少しでも市民の意見が反映されてくると嬉しく思います。	市政への要望
105	男性	55～59歳	「ジェンダー平等」とことさら大声に逆に異論を持つ人の言論を封殺するような風潮、思考停止にさせるような風潮に政治的利用のきらいも含めていきすぎ感を感じます。(マイノリティへの理解は大事なことは認識はしていますが。)	過度な取り組みについて

106	男性	45～49歳	各々の問題を解決するための法律や制度設計は必要な事ではある。ただ中には現状の制度に満足している人もいたりして、マスコミや政治でフォーカスされる事で、いままでは静かにくらしていたのに、余計に注目されて逆に生きづらいと思っている人もいるのではないか。多くの人に知ってもらうためには、必要な事かもしれないけど、政治や行政には淡々と政策を実行してもらうだけである。性的被害や、性自認で苦しんでいる人には様々な支援が必要だし、レズビアンだとかゲイと仮に告白されても、いままで通り以前と何ら変わらなく接するつもりである。	過度な取組みについて
107	男性	65～69歳	行き過ぎにより、逆に女性の立場を危うくする事が多く、欧米では政治的な問題になっている。平等を標榜する人の中には、権力闘争が隠されている場合が多く、また理論が先走り、現状にそぐわないものになっている。むしろ、悪平等の典型的な考えであり、危険な思想である。生物である以上、科学的におかしい理論でもある。	過度な取組みについて
108	男性	45～49歳	アメリカのどこかの州で大麻を合法化した結果、州がスラムの様になってしまい、その土地を離れる決意をした人の動画をご覧になった方が良いと思います。その人が動画の最後に言っていたのは、斬新な改革は良く聞こえるかもしれないが、その結果がこれだ、必要なのは斬新な改革ではなく、良識ある判断だ、と。ジェンダーやLGBTに配慮して、それ以外の今までの人を蔑ろにしない事をねがう。	過度な取組みについて
109	男性	60～64歳	人権を尊重するための政策ならば、是非とも推進すべきと考えるが、現在の国立市におけるジェンダー平等に向けた政策は納税者として憤りを禁じ得ない。行き過ぎとも思える施策を他自治体に先んじて行政が進めている理由を知りたい。お風呂・トイレ問題は周知の事実であり、スポーツ界にまで悪影響を与え先行していた諸外国では、既に見直しが図られている。国立市の動きは周回遅れであり、一部活動家の政治利用にしか思えない。(当該アンケート「問7」にも何かの政治的意図があるのかと…)	過度な取組みについて
110	女性	45～49歳	ジェンダー平等を気にし過ぎるあまり、文章やイラストその他表現が不自由になっている一面がある。例えば、何らかの申請書に性別欄が削除されることで、対象者が父なのか母なのか、名前だけでは判別がつかなくなったり。市報等で使用するイラストについても、スカートの子は×、長い髪の女の子は×と制限があり、気にし過ぎでは？と感じる。少数派を切り捨てるのがよいという訳ではないが、長い髪やリボンや女の子らしい服装が好きなのは尊重しなくてよいのでしょうか？何を着ても、どんなヘアスタイルでも自由で、どちらも尊重されるのが、真の男女平等ではないかと思えます。マイノリティの方達も、「気にし過ぎ」は望んでいないのでは？パラソルちゃんもじいちゃんも人間らしくないし、個性がなくてロボットみたいで、心に残らないです。愛着も持てません。	過度な取組みについて
111	女性	80歳以上	世の流れは解かりますが、高齢ゆえか実感がありません。聖書(旧)ではソドムとゴモラ(性的なみだれの街)に神の審判がありました。一人一人の悩みにはより添えますが同性婚など理解には至っていません。日本が世界の流れに遅れをとっていることは知っていますが、日本独特の美風はそこないたくない。大げさにさわぐ人々にすこし気持ちが悪い思いをします。静かに訴えた方がよい。	過度な取組みについて
112	男性	30～34歳	自分は、LGBTや同性愛者について賛成も反対もなく、みんなと一緒にだと思っています。だからこそ、それについて時間をさいたり、注目することで、強要されている感じがしてイヤだ。また、以前メディアで見ただけで、学校の教科書で、男の子同士が手をつないだり、女の子同士がキスをしたりしていたのが載っていたのは、子供がそれがあたりまえと育ってしまうのではと疑問に思う。同性同士で愛し合うのは個人の勝手だと思うが、強要するものではないと思う。そして、同性婚が認められ、増えたら、日本の少子高齢化がもっと進むと思う。	過度な取組みについて
113	女性	55～59歳	ジェンダー…私には理解できない。男は男らしく、女は女らしく…とってしまう。同性婚を認めたらますます少子化になるのでは…？心と身体の違和感など理解できない。人種や障害などの差別は全く無いが、ジェンダーは全く理解できない。申し訳ないが、分からない。夫婦別姓も反対。「家族」の大切さが薄くなってしまふ気がする。家族は同じ名字であるべきとってしまう。	過度な取組みについて
114	男性	50～54歳	ジェンダー平等を推し進めるあまり、極端にLGBT基準になり過ぎたり性別の持つ得意不得意を無理矢理整えるような苦しい環境にはして欲しくないと、このような活動を見ていると感じることがあります。	過度な取組みについて
115	男性	30～34歳	マイノリティに配慮する事はある程度必要かとは思いますが、昨今はやり過ぎだと感じている。納めた税金をマイノリティにばかり割かず、もっと公共の福祉に焦点を当てて欲しい。	過度な取組みについて
116	男性	40～44歳	ジェンダーを出汁にした活動家が目に余る。市政においては公益を慎重に吟味してほしい。	過度な取組みについて
117	男性	35～39歳	ジェンダー平等の名のもとに、全市民の平等が損なわれるようなことは避けてほしい。ジェンダー問題を抱える人に対するケアばかりが優先されることは望ましくないと思う。	過度な取組みについて



118	女性	40～44歳	社会全体がLGBTQに関して過剰になり過ぎてる感じを受けて、そういう人達の人権などは守った方がいいが、やり過ぎなのではと感じる事が多い。	過度な取組みについて
119	女性	65～69歳	LGBTだと思う方、カラオケで見かけましたが親切で好感を持ちました。LGBTを差別して考えることはないです。その方個人が信頼できると思ったら普通につきあいます。	LGBT、SOGI
120	女性	45～49歳	性転換をした元男性が、女子スポーツ競技に出て優勝、などという外国の例は、元男性の体だから、不平等だと思う。自分らしく生きていくうえで差別や偏見がない世の中になってほしい。セクシャルマイノリティを保護しすぎてその他の人が不満を感じるようにならないかと思う。同性カップルでも子供を育てられるように、養子縁組がもっと広くできるようになれば、家族に囲まれて幸せな子供がふえるのと思う。これは初めは差別や偏見があるだろうが、とり入れていかないといつまでも進まない。同性カップルで子供がほしくても諦めている人はきっと沢山いると思う。	LGBT、SOGI
121	女性	30～34歳	私はLGBTの事しか知らず、まわりにも居ないのであまり深く考えたりした事はありませんがどんな形で生まれてきても、平等であるべきだと思います、自分の子供が将来もし、LGBTなどの告白をしてきたとしても生きにくい生活をしてほしくないと思います。1人の人間として皆生まれてきたのだから平等で生きやすい世の中に今後なるべきだと思います。	LGBT、SOGI
122	男性	50～54歳	LGBまでは性指向的な趣味の結婚はすきにすればよいが、子供ができないのなら養子を取れ。このために里親制度を拡大すべし。	LGBT、SOGI
123	女性	55～59歳	トランスジェンダー、セクシュアルマイノリティーで、心に悩みを持ってしまっている方々が、何の気かねもなく過ごせる社会が来て欲しいと思います。まずそういう区分が無くなる事が大事だと思いますが。	LGBT、SOGI
124	女性	75～79歳	身近にLGBTの人がいないのでパートナーシップの必要性を感じたことが正直ない。	LGBT、SOGI
125	女性	80歳以上	動物(山羊)を子供の頃飼育したのでどちらとも言えない性の存在は知っていた。人間にも同様の身体的性、精神的な性があるとは、最近知りました。「苦しいことは、生きること」なのかな？苦しみのない生はないと思っている。	LGBT、SOGI
126	女性	55～59歳	よくわかりませんが、昔からゲイやレズビアンは普通にいたと思います。興味がないのでその人達が差別で苦しんでるとか知りません。何故、差別する(される)のかもわかりませんが、自由でいいと思っています。ただやたらLGBT・ジェンダー平等とかって言うのを聞くとそれはそれで何か変だな…って思います。平等平等って差別がそんなに悪いことなのか、同性同士が結婚したいならすればいいけど、子孫は残せないのは事実で、最初からわかってる事だし、男女の結婚とはちがう分差別的な事はあってもしょうがないと思います。平等平等ってさわぎたてなくても、それぞれの人が歩みよりながら暮らしやすい世の中になればいいと思います。	LGBT、SOGI
127	女性	25～29歳	SOGIやLGBTQ等性的マイノリティの方々が意見しやすい世の中になってきている。ニュースや抗議活動を積極的に行っている人に対して、静かに過ごしたい性的マイノリティの方々もいる。私の友人は、性的マイノリティの方々が多数。積極的に活動をしている人への世の中の目は温かいものだけではなく、「マイナスな目」も多い中、静かに過ごしたい人は、積極的に活動をしているやつらと同じに見られたくないという意見も多数ある。世間に必要な視点は「訴えやすい世の中を作ること」ではなく、「いかに両者が受け入れ、生きやすい共生社会を作るか」が重要だと思う。訴えるばかりで、両者が誤解をうまず、生きやすい社会を作る政策はしているのだろうか…。と疑問に思うことが多いので、是非国立市からこういった政策を作り、活動してほしい。	LGBT、SOGI
128	女性	65～69歳	連休に田舎に帰りましたまたま知り合いのご家族にお会いしました。知人は男性でその妹で年齢は30才位かと思われます。その男性の家族(子ども達)も参加して、レストランで会食していましたが、その妹の方は同性の方と結婚していた事を知りました。少しびっくりしましたがその男性の家族と仲良く過ごしている様子で皆が受け入れている様でした。そんな中地元の高校では自分がLGBTである事を公表して過ごしている事を聞きました。その田舎は小さな町ですが積極的に取組んでいる事を知りました。周囲の大人達の理解が進んでいる事で生きにくさが少しでも無くなるといいですネ。ステキな町になってほしいです…と思った連休でした。	LGBT、SOGI
129	女性	30～34歳	こういうことは、認める、受け入れるというのは、個々人の自由だと思っているので、あんまり一方的に強制したりするよりも、とにかく、周知することが大事なんじゃないかと思っています。その上で、同性婚のように、法で妨げられている部分があれば、議論して変えていけば良いと思います。万人に受け入れられるというのは、無理な話だと思います。美容整形なども、決して悪いことではありませんが、苦手な人は苦手です。それが差別などにつながれば問題ですが、お互い、押し付け合わずに、ゆとりを持って接することが大事だと思っています。以前、トランスジェンダー女性が、性被害にあったけど、女性と認めてもらえたみたいで嬉しかったと言っていて、私は正直、トランスジェンダーに関しては、それ以来不信感というか、苦手意識があります。	LGBT、SOGI

130	女性	40～44歳	LGBTを批判する気はない。けれど、持って生まれた体は大事にしたほうが良いと思う。女性の体で生まれたのなら、男性の体を持った人と結婚したほうが幸せになれると思う。女性が男性の体になろうとしても、男性器はつけられない。男性が女性の体になろうとしても女性器をつけられない。カップルでも結婚でも、よりよいSEXが必要不可欠だと思う。体を変えてしまったり、同性と結婚したら、性的に満足感を得られないと思う。SEXが全てじゃないけれど、SEXができないのなら、浮気されてもおかしくないと思う。今回の調査で、国立市は、多様性のある街を目指していることがわかりました。”しょうがい者があたり前にくらすまち”というスローガンもまだありますか？とても良いと思います。	LGBT、SOGI
131	どちらとも いえない	25～29歳	私はもう大人で、法的に結婚しています。ですが、性自認をはっきり決めることができず “女らしく、”という言葉に長年苦しんできました。今の相手には全てを話し、受け入れてもらい、何事もないように1人の人として接してくれます。もちろん中には受け入れられない人もいます。それでいいと思っていますが、それを悪いものにするのは良くないしくなってほしいです。私が小さい頃は男・女の2つしかない。そう育ってきたので自分の性自認に気付いた時、自分が悪いんだと責めてしまいました。だから子供の小さい頃から、多様な性があるし、そうでもいいというのを知ってほしいです。知らないことが一番苦しむし、責めてしまう要因かなと大人になって思いました。今の小さい子達が大きくなって生きやすい国立市になってほしいな～。もっとすてきな国立市になるな～と思いました。	LGBT、SOGI
132	女性	70～74歳	国立市のパートナーシップ制度について市民に対し認知するように広めて欲しい。上記制度を更に使いやすくする為ライフパートナーとして認められる制度を増やして欲しい。LGBTQについての研修や実際に遭遇した時の対応へのアドバイスができるような使いやすい相談窓口(あるかもしれないが知らない方が多いのでは)を作ってほしい。差別について行政職への対応。	LGBT、SOGI
133	女性	55～59歳	自身がジェンダー関連で困っていることはまったくないが、当事者からよく話を聞いてほしい。義弟が性同一性障害(認定されている)だが、「自分はLGBTだから●●なのは仕方がない/家族だから●●を許容すべき」という考えの人もいる。自分は障がい者=なりたくてなったわけではないんだから周りは受け入れろという。おかげで家族(肉親)は彼に嫌悪感を持っている。家族だから受け入れるべきか。そうではない。家族だって受け入れられないという選択もあるべき。私自身は友人に同性愛者、両性愛者がいるのでいまさら嫌悪感はない。	LGBT、SOGI
134	女性	40～44歳	LGBTの人の話を直接聞いたことがないので知識不足だと思う。それによって、無神経な発言をして相手を傷つけてしまうのではないかとこの恐れがある。	LGBT、SOGI
135	男性	25～29歳	国立市は中央線で都内に出ることのできる環境であるため、LGBTQ当事者については都内のコミュニティに属している方が多いのではないかと考えます。そのため、当事者の家族、友人等が語れる場、交流できる場があると良いのではないのでしょうか。そのあたりのニーズがあるのかも調査していただきたいと思います。	LGBT、SOGI
136	男性	60～64歳	何か月か前のニュースで、LGBTの人が嫌いだと言って世間から攻められている人(政治家?)がテレビで報道されていましたが、それはその人の本心を言っただけではないのでしょうか。なぜ本当のことを言うと怒られるのでしょうか。本心に逆らい嘘をつく方がよいということなのでしょう。最近では本当のことが言えない世の中になったと思います。LGBTの人が嫌いな人もいるのは事実だと思いますので、何でもかんでも「多様性」という都合のよい言葉で片付けるのはどうかと思います。それこそ、ニュースに出ていた人に対する差別ではないのでしょうか。嫌いな人もいるんだ、と認めることも公平で平等な対応と言えるのではないのでしょうか。	LGBT、SOGI
137	女性	20～24歳	LGBTの当事者の方々から「ほっといてほしい」という声が多いとも聞くので、ジェンダー平等系の施策を大々的に実行している方々はそういう意見をどのように受けとめているのだろうと疑問に思っています。	LGBT、SOGI
138	男性	50～54歳	女性トイレの数を増やすべき。	トイレについて
139	女性	70～74歳	小、中、高、大など学校の女子トイレに生理用品をトイレトペーパーのように置いてあるのが当たり前のものとして常設してほしい。学校や公共施設などのトイレは男女別になっているだけでは不十分で、男、女、障害者、介助者などが人の目を気にせずに使える誰でもトイレを設置、増設してほしい。中学校の制服は、スカート・ズボンなど選択できるようになっているらしいことを最近知った。そのような情報や児童・生徒の実情・感想などをもっと知りたい。ジェンダーに関する情報誌なども、戸別配布してほしい。そもそも中学校の制服？標準服？体育着など全員が揃える必要があるのかの議論をしてほしい。中高年の家庭内のDVなどは社会全体の男らしさ、女らしさなどの認識に由来したり、女性の経済的自立が難しいこと、などから起きているような気がする。世の中全体の人々が希望をもって生活できるように、国立市としてできることを積極的にやってほしい。そのためにもこのアンケートで意見も書け自分の自覚の無さもわかってよかったです。ありがとうございました！	トイレについて

140	女性	60～64歳	歌舞伎町タワーのジェンダーレストイレの様な過度の優遇は、犯罪の温床になりかねないので、留意しつつ進めて欲しい。	トイレについて
141	女性	45～49歳	多様性への配慮は大切だと思いますが、ジェンダーレストイレは反対です。市として設置を考えている様でしたら、防犯上の対応をしっかりとしてほしいです。それができない様なら設置すべきではないと思います。	トイレについて
142	女性	30～34歳	知らないことが多かったですが、こう言った支援があることを知れてよかったです。よりよい都市作り、大変だと思います。非常に繊細なことなので。ですが、そういう取り組みを前向きに？している街に住めるのは嬉しいな、と思います。頑張ってください。ただ、ジェンダーレストイレに関しては作って欲しくないです。あれはどうしても、LGBTQの人達に対する配慮と思えません。むしろ侵害してるのでは・・・？とさえ、正直思います。	トイレについて
143	女性	55～59歳	歌舞伎町タワーにジェンダーレストイレが作られましたが、性犯罪のリスクが指摘されています。時代にのってジェンダーレスというが、国立市には、絶対に作らないでほしい。	トイレについて
144	男性	25～29歳	海外では、男女トイレと別にLGBT(特にT(トランスジェンダー)向け)のトイレを置くなどしているようです、片方をなくすなどでなく追加する方向で考えるべきと考えます。また、夫婦別姓の選択肢が1つとして認められても良いと考えます。	トイレについて
145	女性	45～49歳	女性トイレをなくしている自治体がありますが、国立市は女性トイレをなくさないでください。隠しカメラの設置や性犯罪が増えると思われる。多目的トイレを男性トイレ、女性トイレにも設ければ解決すると思われます。	トイレについて
146	女性	75～79歳	トイレの事が問題になっている所もありますがトイレは、男用と女用で良いと思います。当の本人達がユーチューブで発信していましたがジェンダーレストイレは迷惑らしいです。	トイレについて
147	女性	25～29歳	見た目がやや男性寄りの女性なので周りにびっくりされる事、女性トイレに入りづらいという悩みがある。国立市だけでももっと寛容されていければと思う。マンションやアパートなど、もっと同性で借りられるところが増えてほしい。こういう調査のおかげで知らなかった事が知れたので良かったです。	トイレについて
148	男性	30～34歳	ジェンダーレストイレのようなトイレはつくらないでほしい。トイレ、更衣室は身体の性で判断するべき。	トイレについて
149	女性	60～64歳	不平等や、暴力は、もちろん良くないが、以前と比べ、すごく女性は、優遇された世の中になっている。変わるべきは政治家と思う。ジェンダーは、男性が女性のスポーツに参加するとか、トイレに入る更衣室に入るなどは、悪用する人が増えると思う。夫婦別姓は絶対反対。子供がかわいそう。親はちゃんと考えるべきだと思います。	トイレについて
150	女性	45～49歳	心と身体の性が一致しない人を思いやる心は必要ですが、そのために女性の立場や安全がおびやかされないようにしてほしいです。最近話題になっているジェンダーレストイレ(誰でもトイレ)を増やして女性トイレの数を減らす、というような事はしてほしくないです。(公共のトイレや学校のトイレなど。)性自認が女性である男性が女性更衣室を使用するのもOKにしてほしくないです。	トイレについて
151	男性	35～39歳	トイレや更衣室は身体の性で分けて欲しい。またトイレのマークを配慮した結果なのか男女どちらか分かりにくいものがある。利用のしやすさも考慮して欲しい。余裕がかなりあり、利用者が多いところでは誰でもトイレで対応して欲しい。	トイレについて
152	女性	35～39歳	最近ジェンダートイレ等の問題がSNSで取り沙汰されていますが、男女別トイレ+誰でもトイレ(更衣室含む)がLGBTの方もそれ以外の方も幸せな方法であると思います。差別というより、体の機能による区別で分けていただくのがいいと思います。ジェンダー平等というのは体の機能での区別が1番ではないでしょうか。	トイレについて
153	女性	45～49歳	感想になりますが、今回アンケートに回答しながら、自分がいかに市の取り組みを知らないかが分かりました。そのような深刻な事態に陥ったことがないこともありますが、知っていることが、より期待される職場での対応策や体制等の情報に比べ、市政・民間の取り組みへの自身の感度が低いと思うので勉強したいと思いました。(市報も目を通すようにしていますが、自分の関心に引っかかっていないようです。)ジェンダー平等については、世代間ギャップが大きいと感じており、また行きすぎた考え方もあるので難しい問題だと理解しています。自身は職場(大学)でオールジェンダートイレや寮内にオールジェンダーフロアが設けられるなど、かなり先進的な取り組みを行っていますが、容易ではないとは思ふものの、都や市の特に教育機関ではいずれこのような試みが推進されると良いのではないかと考えています。性差のみならず国籍・言語・文化といったダイバーシティ全体への許容度を上げていくことが日本全体の課題だと常々感じています。	トイレについて
154	女性	45～49歳	性の多様性は認められるべきだと思うが、生物学的に男性器を持つ人が、女性トイレを使用することは受け入れられない。女装をした悪意のある男性が隠しカメラを付け、タイミングによっては襲うことが増えるだろう。性器の有無は傍目からは分からないので、結局、性自認の内容に関わらず、生物学的に女性以外の方が女性トイレを使うことは難しいと思う。テレビで見ただけだが、タイでのトイレが設置されているのを見た。それが一番健全に近いと思う。国立市において、女性トイレに男性器を持つ人間が入ることになれば、私は娘には、よほどのことでない限り公共トイレは使わせない。一人では、絶対に入らせない。	トイレについて

155	男性	40～44歳	このアンケートにかけている税金が全くの無駄である。政府も東京都も取組んでいるのに国立市が税金をかけてすることではない。何でも対策するのではなく文教地区として特色ある取組みをすべきである。この配布物および人件費を明らかにし、その費用対効果を広報誌に示すことを望む。	調査について
156	男性	70～74歳	このような調査は必要だろうか税金のムダ使いという考えもある。	調査について
157	女性	45～49歳	こういったアンケートや活動をされていることはとても素晴らしいことだと思います。	調査について
158	女性	40～44歳	今回の調査がただ調査を行ったという実績ではなく今後に反映されることを期待しています。	調査について
159	男性	55～59歳	問13以後について、わかりにくい「カタカナ」語はさけた方が良くないですか？ア～オの語句よりカ～ケの語句の方がわかりやすいと思います。問6、7、8、男女平等が目的なら、ありがちな会話で「私の主人が…」ではなく「私の夫が…」と言わせるべき。いつまで水戸黄門の時代？のつもりでいるのですか。又税や社会保険料等は、男・女区別なく収入によって同率で全員（個人ごと）が平等に税や保険料等を支払うべきで、年金保険の3号保険者や税の配偶者控除・扶養控除・年末調整等はやめて個人ごとに保険料や税を支払うべき。3号保険者や配偶者控除等は税や社会保険料を支払わない為に都合よく利用？悪用？されている？だけなのではないのか。国・地方議員や△△委員等は平等が目的なら国・都議会や委員等は全て「男女同数でなければならない」と無理にでもすべき。問7「エ・オ」個人的に？問11相手がいない、又相手がいないので問6以後はあてにならないと思います。問10「イ・ウ」いたずらや、悪用？されませんか？	調査について
160	男性	80歳以上	「ジェンダー」ということばを無自覚に使わないで欲しい。少なくとも公文書では、「性別」か「性差」にすべきではないか。「ダイバーシティ」これもよく使われているが、おかしい。「多様性」でいいのではないか。カタカナは便利だが、このような書類では抑制的に使うべきだ。	調査について
161	女性	55～59歳	当事者の方が声をあげないといけないことに違和感を持っていたが、声をあげないことにはそういう人はいないと見なされてしまうことをなんとかしたいという思いで声をあげておられるということに、切実さを感じた覚えがある。ただ、今回のアンケートをしてみても本当に当事者の方によりそっているのか…難しい語彙を羅列されても…。自治体の取り組んでますという自己満足にすぎないのではないかと思う。3000人の人にアンケートをとり、どれだけのことが得られ、よりよくなるのか…市報に悩みのチャート式のをせ10Pに機関を紹介してはいかがだろうか。あまりにこじんまりとした人口7万人。風通しが悪くならないよう…。	調査について
162	男性	60～64歳	アンケート内の語句の解説や右ページの案内は別紙にした方がよい。アンケートを返信したら手元に何も残らないヨ。あと、返信封筒はシール貼りにしてほしい。	調査について
163	女性	75～79歳	カタカナが多く理解出来ません日本語ひらがなの表記がほしいです。	調査について
164			この調査してなにがたのしいのかわかんない。ばからしくてかけない。	調査について
165	男性	60～64歳	標記ジェンダー等の施策についてどのように周知しようとしているのでしょうか？期限内での効果・実施検証はどのように市民に伝えるのでしょうか？係を設置したからそれで善となりかねない気がします。アンケート調査の費用対効果は検証しますか？まずはこういった事をPDCAのサイクルで見に行く必要があります。	調査について
166	男性	70～74歳	この様な調査は、他の自治体でも実施していると思うが（※）、国立市で費用を使ってやる意義があるのでしょうか。（「ジェンダー平等施策としてアンケート調査を実施しました」という実績づくりとしか思えないが。）ジェンダー平等に関する調査で、問4、5は必要なのですか？多くの相談窓口が、役所の時間（8:30-17:00:平日）となっている。実際に利用する方には利用しにくい設定であると思います。問10、ア、の対応にすべきだと思います。（※）アンケートをしなくても他の自治体のアンケート結果を参考にできる。大きな違いはないでしょう。	調査について
167			1938年、84すぎています。私の今生きていることに、あてはまらない。ジェンダーことば聞いたことありますが何のことかよく分かりません。高齢者に、こんなアンケート分かりません。	調査について
168	女性	80歳以上	アンケートに協力する事はよろしいのですが当方は80才を超えています今回の調査対象としての確でしたのでしょうか？	調査について
169	女性	80歳以上	このアンケートは私にはむずかし過ぎる。色々と考えてしまった。長年（90年）生きてきて思うことは、性別を理由に「こうあるべきだ」と言うことは生きづらい。私らしく、自分らしく、無理なく生きることが人間として幸せではないかと思う。	調査について
170	女性	65～69歳	やむをえないのですが、カタカナ用語が多いことに違和感があります。	調査について
171	男性	40～44歳	問6の「優遇」の定義がわかりにくいです。たとえば自治会活動で「優遇」されるというのはどういうことを指すのでしょうか。こういった活動は、参加することイコール優遇されているということではなく、むしろ逆の捉え方もできます（参加したくないけど男だから（女だから）参加せざるを得ない、のように）。職場等も同様で、そう考えると答えにくかったです。	調査について

172		35～39歳	問7-8の質問は、何の目的でアンケートをとっているのでしょうか。回答に何の意味があるのか分かりませんでした。アンケート自体、目的や理由をはっきりしてもらいたいです。市民意識によって、政策が変わるのでしょうか？その方が怖いと思いました。	調査について
173	男性	50～54歳	調査の目的が「次期施策計画の策定」という説明は安易すぎると感じた。質問が誘導的・意図的と思え、調査目的にマッチしていると感じられない。	調査について
174	男性	70～74歳	細分化、複雑化しすぎないことでわかりやすくなると思います。権利・犯罪・カウンセリング上記くらいに整理すべきだと思います。	その他
175	女性	35～39歳	なんだかんだ、結局女と男は違うし、男が優位に立つ。女の社会進出をうたっている企業は多いけど、そんなのは表面のみ。結局、子育て1つにとってみても、“イクメン”などちやほやされる世の中。これからは、女の自立、女の主張、女だって、など、大切だよね！！と言っている私の母(シニア世代)は、理解ある風だけど、自分の家庭におきかえた時、全然そうになってない。変えていかねばならないと、言っている、他人事。男性を立てる人生はもう変えられない。40、50～シニア世代はみんなそう。基本そういうスタンス。そういう世代が日本の企業の上層部にいる限り、何も変わらないし、何も期待出来ないし、しない。世の中のカタブツ(ジジイ)は、それほど多い。	その他
176	男性	75～79歳	「ジェンダー平等」は、人として当然の意識であると想います。	その他
177	女性	45～49歳	困った時は一人で悩まず誰かに相談するのはとてもいいと思いました。	その他
178	女性	75～79歳	世の中には不平等がいっぱいあります。裕福な家庭に生まれるのと貧困の家庭に生まれるのも不平等、男に生まれるのと女に生まれるのも不平等、健康な身体に生まれるのも障害を持って生まれるのも不平等、すばらしい才能をもって生まれるのも凡人に生まれるのも不平等、ジェンダーのためだけに法律や憲法をかえる必要はないと思います。	その他
179	男性	45～49歳	人それぞれ考え方があり、年代によっても変化すると思うので、難しいし、うまく書くこと出来ません。	その他
180	女性	50～54歳	女性とか男性とかジェンダーとかいちいちあげなくてもよいくらい当たり前のことで困らない生活が送れる社会になるとよいと思う。例えばくにたち女性ホットライン→くにたちホットラインにするとか？困っている人間が相談できればよいと思う。女性だけが困るわけではないので。社会を動かしている年配の方の意識を知りたい。家制度に固執している昭和一ケタ生まれの義母の言動に日々嫌な思いをしている。女の敵は女なのだと感じる。ダイバーシティ推進係内が平等な係で働きやすいことを願っています。	その他
181	女性	70～74歳	歴史上の人種差別など困難な悲しい事である。今もなぜか日本にいる中国の人を差別する人もあり、私には許されないことだと思う。性差別も同様。本当に人権尊重をしようよ！そして過去の忌まわしい戦争(私は生まれていなかった・・・)を乗り越えすばらしい日本になった。美しい愛する日本国民と、なっていきましょう！	その他
182	女性	80歳以上	ジェンダー平等に関するだけでなく他の障害者にとっても「平等」と云う立場を見直してほしいし、道徳的に人間として見てほしいです。まだまだ身の廻りを見直した時、“これはいじめか？何だ？”と思い、感じた事が多々あり驚いています。近隣、又は友人などからある時思いがけない言葉を投げられた時、ハッとする事があり、自分は認識不足が甚だしいのか、と自分をかえりみたりします。世の中もっと明るく、朗らかであって欲しいと願います。	その他
183	男性	65～69歳	残念ながらまだまだ男性中心の社会構造が続いていると思います。変革には自他共に地道な努力が必要です。	その他
184	男性	80歳以上	文化的・社会的・生活上・心理的にはあることは知っている。生理的(染色体)遺伝学的に存在するのは知らない(調査や学問的立証事例があれば発表して欲しい。動物に両性があることは知っている)。	その他
185	女性	80歳以上	現代の特徴かと思いますが、私が育った世代では、考えられない問題だと思います。自由を大切に時代だから出て来た問題か、時代が変わるにつれ人間性も変わって来たものと色々考えています。自由の為に自己主張がだんだん強くなって来たのかなーとも考えます。誰もが納得出来る結果に行きつくには長い時間がかかるのではないかと考えます。難しい世の中になったものです。	その他
186	女性	70～74歳	いつもありがとうございます。毎日の生活で特段困り事はありません(幸せな事です)。男女平等は大切な事と理解はしておりますが、女性の立場をあまり重視しすぎて、自由と権利を主張しすぎる様な気が致します。男性も女性もお互いおもしろいやりを持って支えあい子供達を健やかに育てて行くと、世界が明るくなる様な気がします。年をとって最近考える事です。	その他
187	女性	45～49歳	性別を気にせず個人を認めることが大切なのだと思う。ジェンダー平等という言葉がなくなる日が(誰もがその人を受け入れる)くるのが良いのかと思うが、女性男性でも今だに差別があるように感じることもある。ただ、男性女性が社会の中ですべて平等同じ立場になることがすべての平等につながるかという所に子育てをしていると感じるところもあり、難しいなとも思う。	その他

188	女性	35～39歳	まだまだ社会や家庭で男性の方が優位な立場にあることを感じることは多い。働いている会社では女性の管理職はほぼゼロ(大企業なのに)で、家庭では家事全般は私が行う。(夫は何となく手伝うという意識。)子育てでは女性の負担は大きく、そのため収入面や仕事の選択で不利になっていると感じる。ただし、不満だけではないのも正直なところ。子育ては大変だが面白い、幸せなこともある。いろんな人が皆生きやすい社会にするにはまだ時間もかかるし、意識を変えることも必要。先日の市議会議員選挙で市議さんたちの演説もきいたが、掲げていることがマニアックに感じた。小さなことにスポットをあてがちで残念だった。	その他
189	男性	65～69歳	男女平等については、年寄りよりも若年者に、対応した方がBetterだと思う。60歳以上(私は67才)の意見は、無視して、10代、20代30代の意見を聞くべし!!年寄りの言うことは聞くな!!	その他
190	男性	75～79歳	市の行っている活動について、積極的に参加する様に努力したいと思います。イベント等の告知を見逃さない様にします。	その他
191	男性	60～64歳	今までに無かった物や人。それに対応していく事も大切かと思う。	その他
192	男性	70～74歳	ジェンダー平等については近年、良く耳にしており否応なく意識しています。私は今年71歳で若い頃は良く「女のくせに生意気だ」などと口にしていましたが女性を差別するわけではないんですが、周りの皆が口にするので対抗するときは当たり前のように口にしていました。先生も「女の子は、か弱いから優しくしなければいけないよ」「学校行事は大変だから男子中心で女子は補佐する」などと良い意味で差別してたように思います。今から、50～60年前は世の中の考えがそんな感じだったと思います。今は、世の中の考えも変わり、口では男女平等が当たり前になっていますが、実態が伴っていないと思います。年老いた私ですが、全ての面で男女平等であるべきと思います。但し、体力的には基本、男の方が勝っていると思いますので男はフォローすべきだと思います。世の中には、奥さんに対して「俺が養ってやっているんだから俺の言う通りにしろ」などと勘違い甚だしい男も確かにいますが、私を含めて殆どの男性が、男が優勢だなどと思っていません。ただ、女性は男と違った優しさ、か弱さが有ると思います。だから守らなければいけないという意識が有り、それが差別的な言葉、行動に出るのではないかと思います。だから例えば、結婚しても働きたい女性は働けば良い、子育ても協力し合えばいいと思いますがあくまでも夫婦で話し合っ決めて決めることと思います。いずれにしても、人は一人で生きるよりも二人で生きる方が心強く且つ楽しいと思います。(私は、異性愛、同性愛及び両性愛全て認めます。)市には市民に対してこう言ったことを認識して頂く対策の検討を希望します。(現状、私は思いつきません。)	その他
193	女性	55～59歳	特別なくくりなどなく(LGBTとかジェンダー等)、言葉もなくこれらが普通であり、すべての人が同じであるがあたり前の日本、世界になるためにできる事は全てやってほしいと思う。まずは女性への社会差別です。全く無くなっていない事ももう少し、自覚してパフォーマンスではなく中味のある活動が見たい。中味のある活動であれば参加します。まずは女性への差別を無くす事。駅前プラザの展示もパフォーマンスにしか見えません。来るのを待つのではなく、こちらから足を使って探し声をかけるぐらいの気持ちがないのならこれらの事を解決する事は絶対にできないと思う。なので今の政策には期待していない。できないと諦めています。参加する気持ちも持ってません。	その他
194	女性	65～69歳	男女の地位ですが、古い考えの世代から古い考えや価値感の教育を受ければ男性優位の連鎖は続いていきますよね。教育がとても大切だと思います。ただ、最近思うのは、女性の地位の優遇等もちろん必要ですが、逆に男性側が追い詰められている印象が時々あります。とにかく、あくまでも平等!どちらが上でも下でもない!理屈ではなく、これのみです!問8に関してですが、これは、男女比率ではなく能力や適している方かで選ばれるもので、数値の辻褃合わせではないと思います…。男でも女でも良いではないか!と思います。どちらも同じ人間ですから!問13～、非常に難しい…わかっているつもりでしたが…言葉やグループ名、分かりにくいです。ただ、どの方も尊重されるべきです。性に限らず、身体の特徴や好み、苦手なこと、社会での生き方学び方等、赤ちゃんの時から幼少期から、すべての世代の人達のすべての違いを認める合うべきです。そうすれば、たくさんのグループ分け必要ないはずですよ。	その他
195	女性	50～54歳	外国の子ども達の人身売買、未成年者の結婚(強制)等子ども達が被害にあっている現状に心が痛みます。その一方で家庭の中では平等と同時に男女の役割の違いがある事は子どもに伝えていきたい。平等と権利を主張するのは違うと感じます。今回のアンケートに参加して、当事者意識がなかったと気付いた。	その他
196	女性	70～74歳	昔からそういう人が居たが、個人に対する尊重(自然的に)をし共存してきていると思う。プライベートな事に安易に口出ししたり、踏み込まない方が、むしろ今まで通りが生きやすいのではないかと。法律で社会のこれまでの秩序を壊したい活動家にのってはいけなと思います。それぞれの生き方、考え方がある訳だから、それで良い。その意味で今でも平等性は保たれていると思う。こういうアンケート調査、国立らしいですね。(市の税金をこんな調査に使わないで下さい)	その他

197	男性	65～69歳	ジェンダー平等に対して、市がこれだけ具体的な活動をしているとは知りませんでした。又、ジェンダーとジェンダー・レスをいっしょくたにして「ジェンダー＝性別をなくすこと」と勘違いしていたことが発覚、そんな自分にはがっかりしました。男女差別はNGですが、男女区別は必要だと思います。職場が町工場でしたので男女の体格差を考慮する必要があった為です。今回一番難しかった設問は、問7のア。「男は男らしく、女は女らしくあるべきだ」でした。当初、男は男の格好を、女は女の格好をするのが体格上似合っているから、と言う理由で「そう思う」にチェックしましたが、趣旨が違うみたいなので変更しました。意外と悩んでしまいました。	その他
198	男性	19歳以下	差別が起こるのはおかしいと思うが、肉体的にも精神的にもある程度の違いはあるため男女の扱いを全く同じにする必要は無いと思う。	その他
199	女性	25～29歳	セクシャルに関する事柄全てに『普通』や『一般論』という概念を設けるべきじゃないと思う。ただ、逆にセクシャルに関して困難を抱えている人々は、まだまだマイノリティになりやすい社会であることや世代別で考えた際に事実を受け入れ難い年代の方々がいることを受け入れるべきだとも思う。この社会問題は協調性が不可欠であり、少なくとも全国の政治や公的機関に携わっている人物の中に1人でもセクシャルマイノリティについて否定的な意見を持つ人がいれば一切解決していかないと思う。	その他
200	男性	25～29歳	特に政治の世界におけるジェンダー平等は速やかに推進していくべきであると感じている。社会の変革を推進すべき政治のほうが、むしろ社会に遅れをとっているのではないか。ジェンダー平等は、少子化対策の観点からも重要で緊急性のある政策課題であると考え。	その他
201	女性	45～49歳	子育て中の女性でも社会で活躍できるよう、短時間勤務の雇用が増えることを願います。	その他
202	女性	75～79歳	ジェンダー平等であるべきと思う。	その他
203	男性	60～64歳	個人を尊重することはいいことだと思う。	その他
204	女性	45～49歳	性別について差別が無いというのは当たり前のことになって、このようなことがわざわざ調査の対象や、イベントを行うことを前提とするような事項でなくなると良い。全体で見れば男性が特に優遇されているというわけではないと思う。理由としては、大きな責任などは男性に偏っていると思う。長男が親の面倒見る(実際は奥さんが見ているのか?)、金銭的に家族を支える、など。重圧で気が重くなることも沢山あると思う。婦人科のお医者さんは女にしてもらいたい。職場の健診などに婦人科検診もあるが、男医ばかりで本当に受けたくない。(男性差別?)検診受けてください、受けてくださいなどよくたわれているが、受けたくても男の医者だと思いと受けたくない。国立市住みやすく大好きです。	その他